

相模原

安全な街へ連携確認

JR町田駅南口環境浄化で市民大会

「JR町田駅南口の環境浄化を推進する市民大会」が十三日夜、相模原市相模大野のグリーンホール相模大野で開かれた。同大会実行委員会の主催で、風俗店が立ち並ぶ通称「たんぼ地」を市民の手で安全な街区にしようとする約二百七十人が参加。相互連携を深めていくことを確認した。

市民大会は、犯罪の少ない街づくりを目指し、市民活動を活性化させる狙いで

開かれ、今回で三回目となる。

大会では、三年前から地域住民が同駅周辺でちらしを配る街頭活動を続けてきたことや、駅南口交番の設置要望運動などが報告された。啓発活動の一層の充実や、立て看板の撤去などの活動計画を進めていくことを決めた。

相模原市上鶴間の主婦は「小学校三年生の息子が風俗街周辺を歩いて通学している。市民の力で、多くの



JR町田駅南口の環境浄化を推進する市民大会

環境浄化へ連携を深めていくことを確認した市民大会

グリーンホール相模大野

町部 川本 愛消防

訓練で技術向上を

救助困難な現場を想定

救急隊と救助隊の連携を確認しようと愛川町消防本部はこのほど、同町角田の隊が救命活動を行えず救助隊が必要な災害現場では、

を配置し、救助の難しい四種類の事故を想定した訓練を実施した。

事故発生時にすぐに救急隊が必要な災害現場では、隊が救助を行えず救助隊が必要な災害現場では、

を配置し、救助の難しい四種類の事故を想定した訓練を実施した。

事故発生時にすぐに救急隊が必要な災害現場では、隊が救助を行えず救助隊が必要な災害現場では、



救急隊と救助隊との連携を確認した人命救助訓練
＝愛川町角田

人が安心して暮らせる地域にしたい」と話して

(佐野 克)

あるため、隊員に迅速性や確実性、安全性と連携のすべてが的確に行われることが要求されるという。

訓練は①交通事故による車両からの救助②マンホールへの転落事故③高所の工事現場での事故④火災による